

農繁期 レポート

令和7年 4-5月号

バードライフファーム

オーナー	バードライフ
産地	鳥取県日野郡日南町
水田面積	22.5アール
保証量	玄米1,013kg
形態品種	特別栽培コシヒカリ



生産者 ノータス研究所株式会社

オーナーの皆様、今年も順調に田植えを迎える事ができ、雨模様も少なく無事田植えを終える事が出来ました、苗も状態も良く、今年は豊作の予感がしております。

昨今お米騒動で日本中大変な事になっておりますが、私たちノータス研究所は、オーナーの皆様にご迷惑をお掛けせぬよう、安心安全でお渡し出来るお米を作りお届け致しますので今後とも宜しくお願い致します。

4月～5月の作業内容

1.育苗

幼少期を集約的に管理して、均一に生育させることが目的です。育苗の初期である発芽から苗立ちの期間の管理が、その後の生育を大きく左右するため、最も重要な場面であるといえます。



育苗ハウスの作業の様子

2.荒起こし

トラクターで硬くなった土を砕き、空気や水を入れて柔らかくする作業です。土をほぐすことで根張りがよくなり、微生物の働きも活発になります。また、次の代かき作業がしやすくなり、田植えの準備がスムーズに進みます



トラクターでの荒おこし

3.代かき

田起こし後の田んぼに水を張り、土を細かく砕いて均す作業です。苗がムラなく育ち、植え付けもしやすくなります。水漏れ防止や肥料・有機物の混和、雑草の抑制にも効果があります。昔は牛や馬に馬鍬を引かせており、古民家に牛舎跡が残ることもあります。



トラクターでの代かき

4.田植え

代掻き作業から数日後に行う作業です。昔は一族総出で行っていましたが、田植え機が発明され作業負担が軽減されました。田植え機にはガイドがあり、まっすぐきれいに植えることができます。稲の良好な生育をイメージしながら作業します。



田植え機を使った田植え